平 面 図

【市道舘小石線 6号箇所13】　1:100

NO.80
NO.100
NO.120
NO.140
NO.160

T-2(KBM.2)
H=212.978

NO.84

As

R=130
L=123.27

NO.100

220
215
205
200
195

NO.118.2
NO.121
NO.135
NO.142.5

法枠

（土）

T-3(KBM.3)
H=208.796

既設L型擁壁
L=3.3
NO.108.0~NO.111.5

既設法枠工
L=3.3
NO.108.0~NO.111.8

帯鋼補強土壁延長 L=29.4
NO.111.5~NO.141.5

プレキャスト防護柵基礎延長 L=29.4
NO.111.5~NO.141.9

アスカーブ L=29.9
NO.111.5~NO.141.9

ガードケーブル L=37.7m（中間支柱 9本）
NO.108~NO.146.5

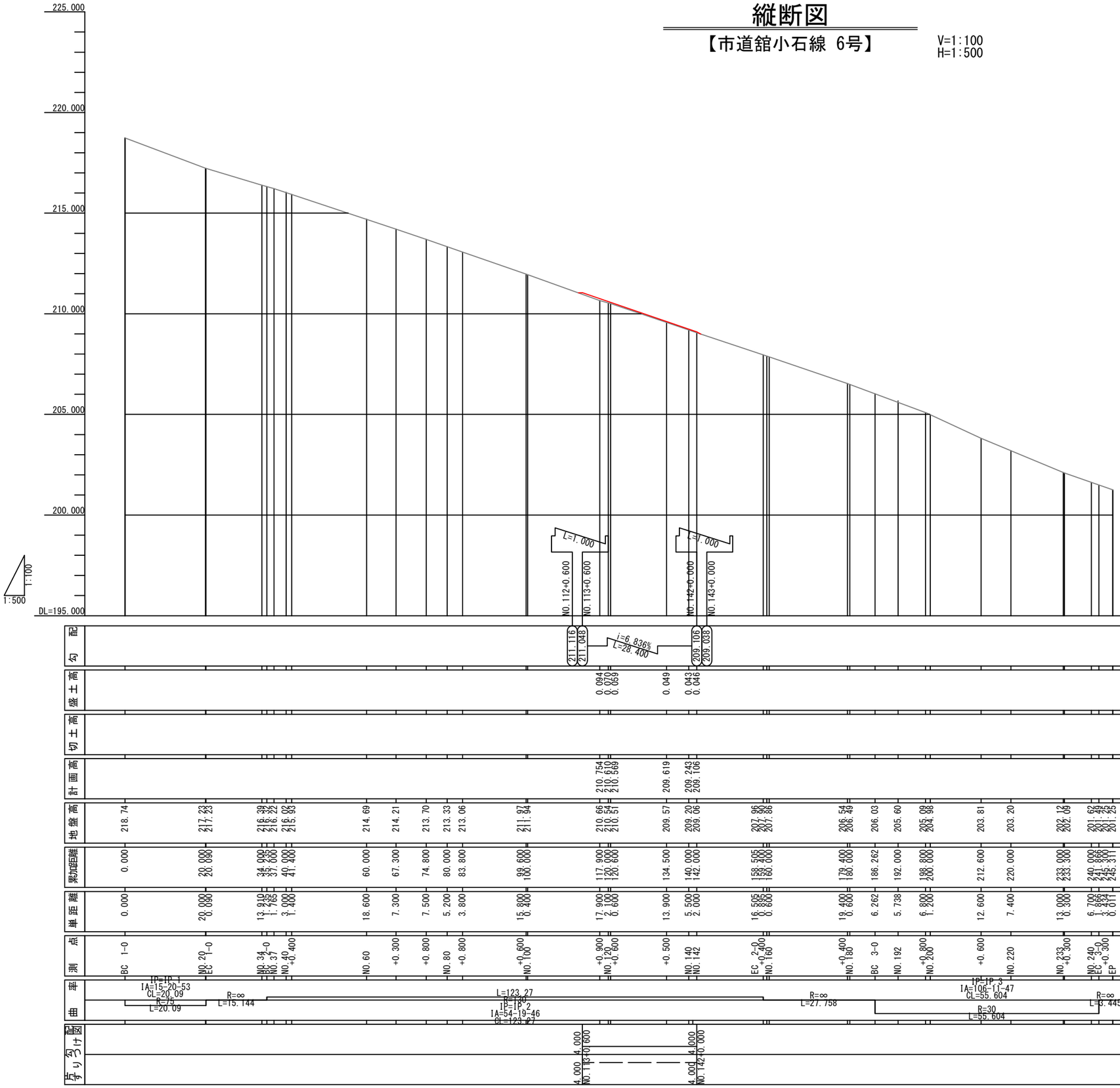
既設ブロック積擁壁
L=4.5
NO.141.9~NO.146.5

令和	8年度
工事名	令和6年災 第6703号 市道舘小石線 道路災害復旧工事（その4）
道路名	市道舘小石線
箇所	輪島市門前町小滝 地内
図名	平面図
縮尺	S=1:100
図面番号	1 / 9 枚の内
	輪 島 市

縦断図

【市道舘小石線 6号】

V=1:100
H=1:500



令和	8年度
工事名	令和6年災　第6703号 市道舘小石線　道路災害復旧工事（その4）
道路名	市道舘小石線
箇所	輪島市門前町小滝　地内
図名	縦断図
縮尺	V=1:100, H=1:500
図面番号	2 / 9 枚の内
輪島市	

標 準 横 断 図

【市道舘小石線 6号箇所13】

設計 NO.117.9

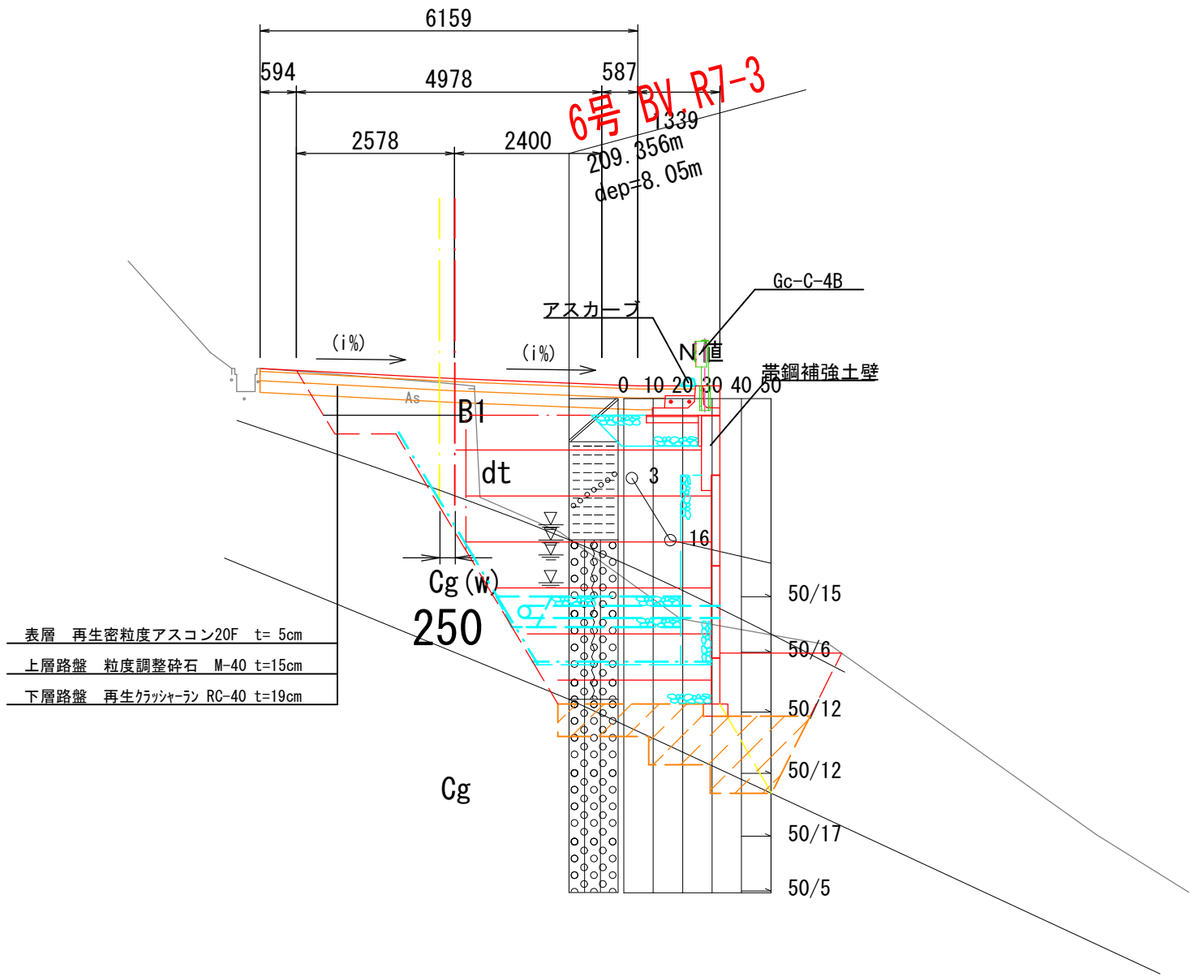
NO.118.2

GH=210.69

FH=210.754

設計条件

設計速度	V=30km/h



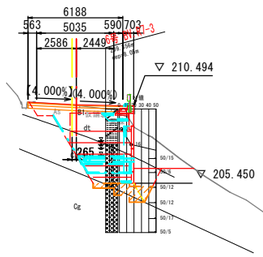
令和	8年度
工 事 名	令和6年災　第6703号 市道舘小石線　道路災害復旧工事（その4）
道 路 名	市道舘小石線
箇　　所	輪島市門前町小滝　地内
図　　名	標準横断図
縮　　尺	S=1:50
図面番号	3 ／ 9 枚の内
輪　島　市	

横断図(1)

【市道舘小石線 6号箇所13】

S=1:200

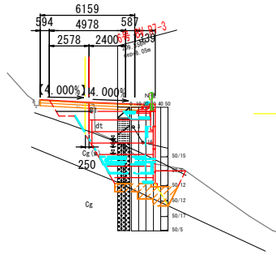
設計 NO.120.6
NO.121
GH=210.54
FH=210.569



DL=205.00

※地層線はNo.135の断面図に基づき、中心線とボーリング位置の離隔1.92m地点における現況路面からの深度を合わせて本断面に反映している。施工時は地層構成を確認し、Cg(w)層まで根入れを確保すること。

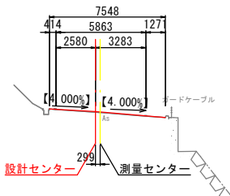
設計 NO.117.9
NO.118.2
GH=210.69
FH=210.754



DL=210.00

※地層線はNo.121の断面図に基づき、計画保護路肩位置を基準に本断面に反映している。施工時は地層構成を確認し、Cg(w)層まで根入れを確保すること。

設計 NO.99.6
NO.100
GH=211.95
FH=212.005



DL=210.00

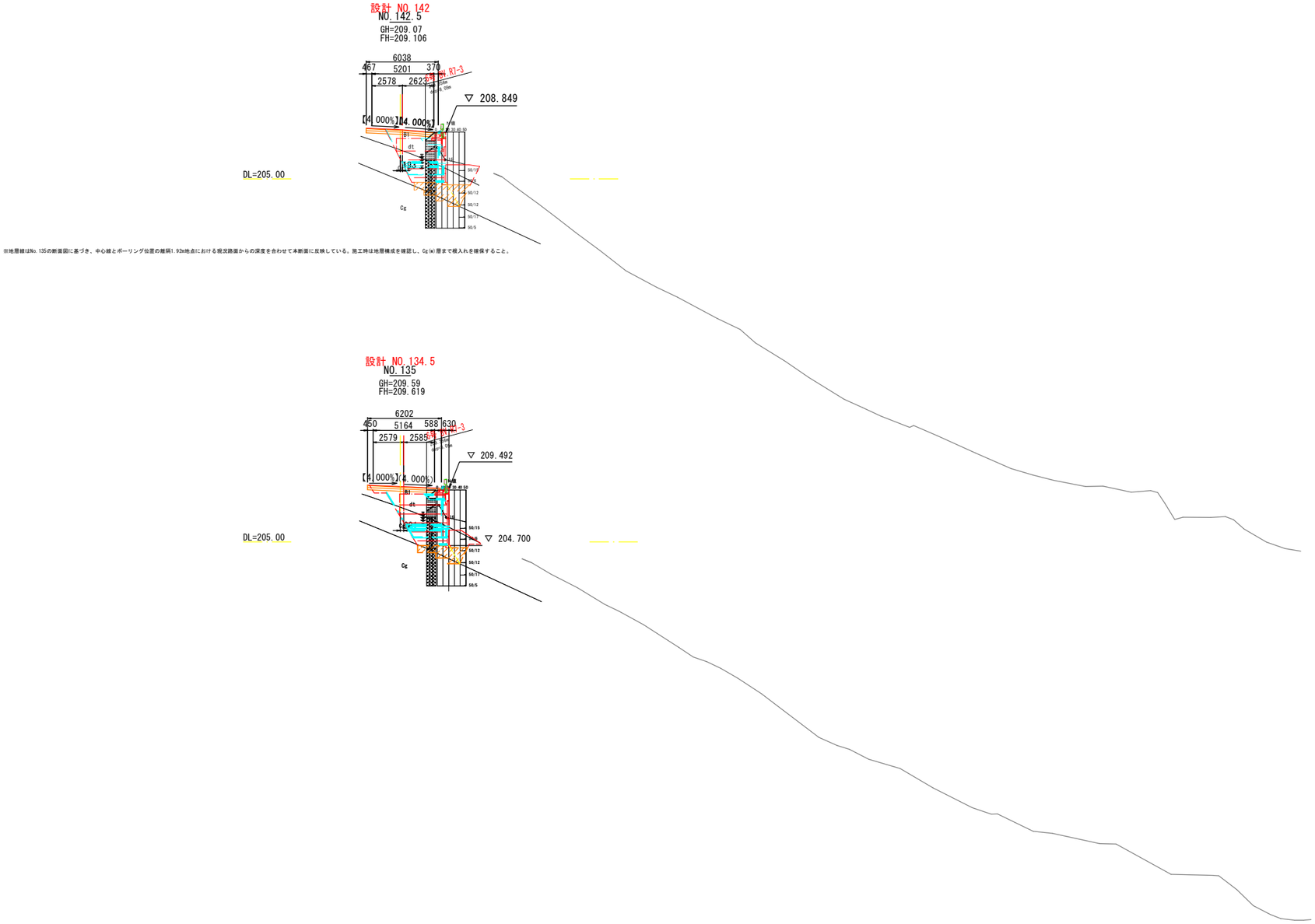
※本横断図は、道路中心線に対して直角でない斜断面で作図しているため、図上の横断距離は道路中心線直角方向の幅員とは一致しない。なお、各横断図の側線位置については平面図を参照すること。
※（）書きの横断勾配は、斜断面の影響を考慮しない当該測点における道路中心線直角方向の計画横断勾配を示す。
※復旧擁壁範囲外は、道路端部で現況との段差が生じないよう横断勾配を調整しているため、【】書きと一致しない。施工時は現地高さを確認のうえ適切にすり付けること。

令和 8年度	
工事名	令和6年災 第6703号 市道舘小石線 道路災害復旧工事（その4）
道路名	市道舘小石線
箇所	輪島市門前町小滝 地内
図名	横断図
縮尺	S=1:200
図面番号	4 / 9 枚の内
輪島市	

横断図(2)

【市道舘小石線 6号箇所13】

S=1:200



※地層線はNo.135の断面図に基づき、中心線とボーリング位置の離隔1.92m地点における現況路面からの深度を合わせて本断面に反映している。施工時は地層構成を確認し、Cg(w)層まで根入れを確保すること。

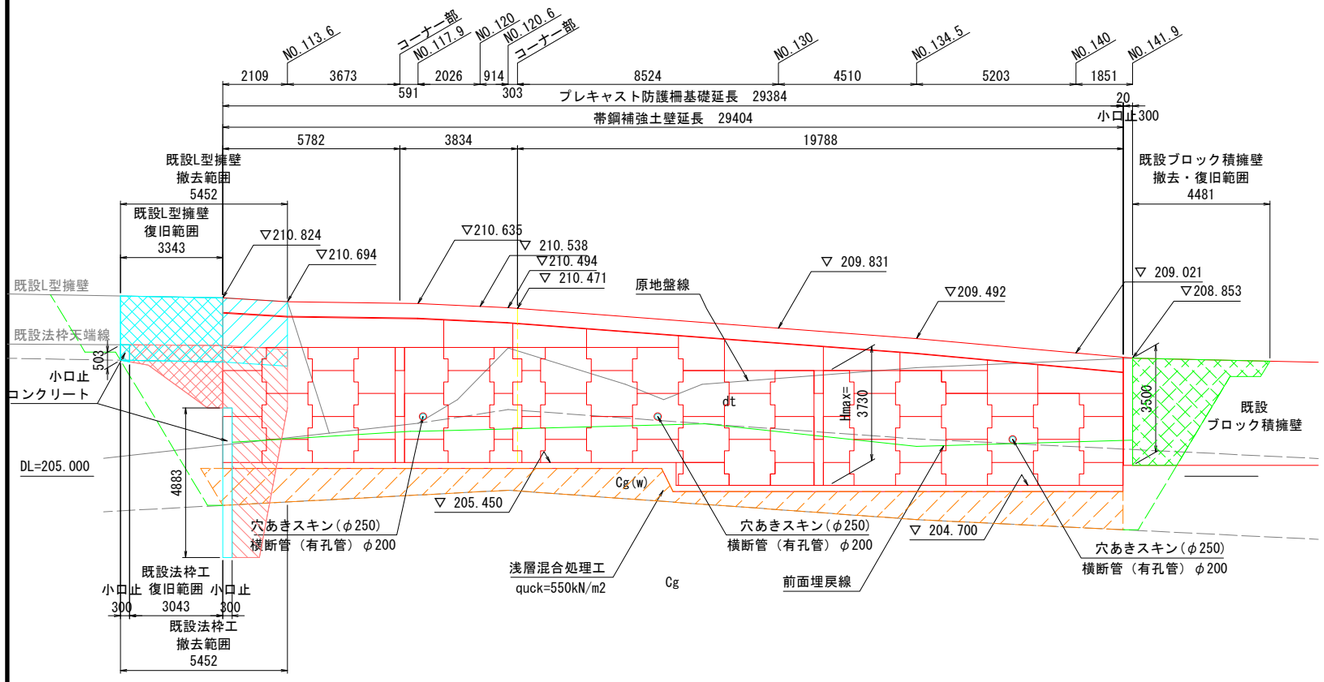
※本横断図は、道路中心線に対して直角でない斜断面で作図しているため、図上の横断距離は道路中心線直角方向の幅員とは一致しない。なお、各横断図の側線位置については平面図を参照すること。
※（）書きの横断勾配は、斜断面の影響を考慮しない当該測点における道路中心線直角方向の計画横断勾配を示す。
※復旧擁壁範囲外は、道路端部で現況との段差が生じないよう横断勾配を調整しているため、【】書きと一致しない。施工時は現地高さを確認のうえ適切にすり付けること。

令和 8年度	
工事名	令和6年災 第6703号 市道舘小石線 道路災害復旧工事（その4）
道路名	市道舘小石線
箇所	輪島市門前町小滝 地内
図名	横断図
縮尺	S=1:200
図面番号	5 / 9 枚の内
輪島市	

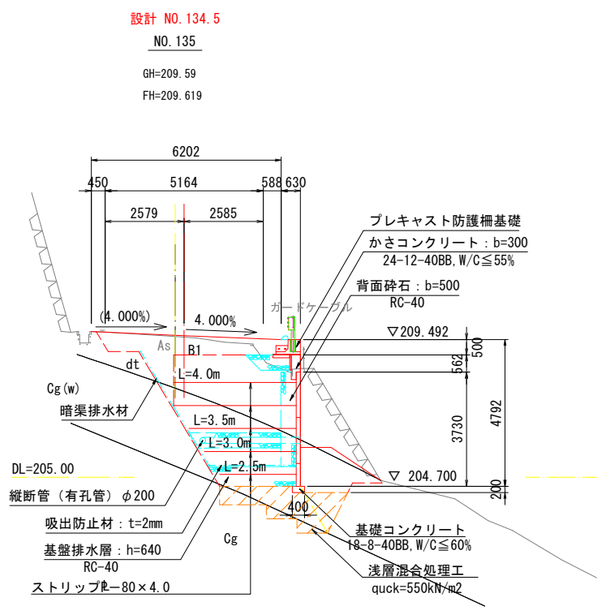
帯鋼補強土壁一般図

【市道舘小石線 6号箇所13】

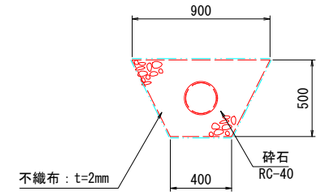
正面展開図 S=1:100



標準断面図 S=1:100

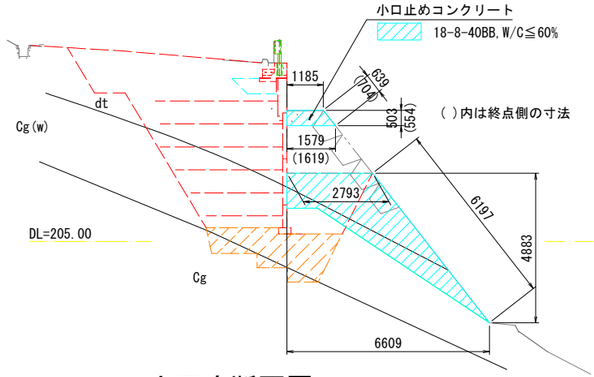


地下排水工断面図 S=1:20



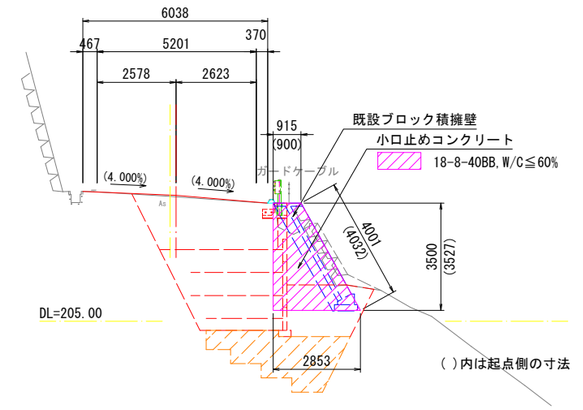
設計条件		
補強土壁の高さ		Hmax = 3.730 m
盛土材の性質		γ=19kN/m³, φ=30° ※ 円弧すべり検討のみ c=10kN/m²考慮
盛土材とストリップの間の摩擦係数		f' = 1.5 ～ 0.727
安全率		常時
	ストリップの引き抜きに対して	2.00
	盛土のすべり破壊に対して	1.20
	滑動に対する安全率	1.50
	転倒に対する安定条件	B/6以下
	支持力に対する安全率	3.00
ストリップの引張許容応力度	SS400	σta=140N/mm²
ボルトのせん断許容応力度		τa=200N/mm²
コンクリートスキンの設計基準強度		f'ck = 35N/mm²以上
補強土（テールアルメ）壁工法設計施工マニュアル第4回改訂版（平成26年8月）準拠		

小口止断面図 S=1:100
〈起点側〉

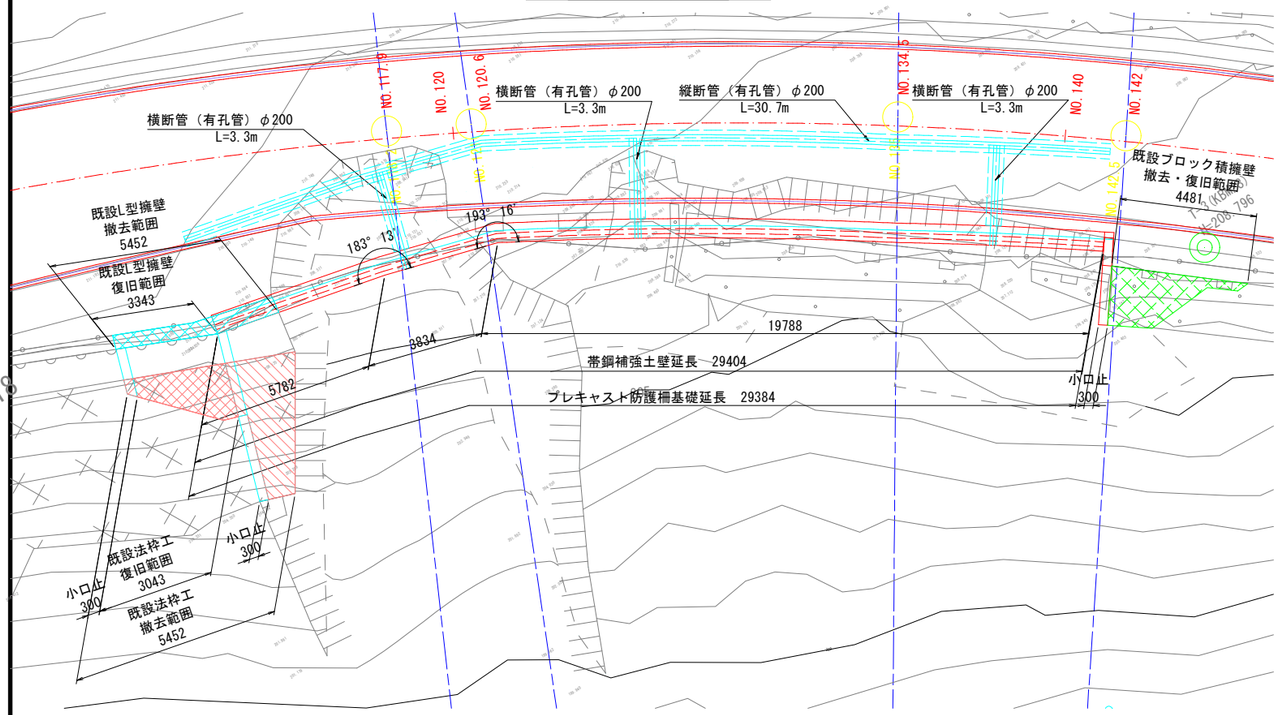


締固め管理値		
仕上り厚	試験方法 JIS A 1210	締固め度 Dc (%)
25cm	A，B法	95%以上
	C，D，E法	90%以上

小口止断面図 S=1:100
〈終点側〉



平 面 図 S=1:100



特 記

1. 盛土材は，粒度試験を行い，次に示す〔A₁〕もしくは〔A₂〕材料であることを原則とする。
   〔A₁〕細粒分（土粒子の粒径が75μm以下のもの）の含有量が25%以下の土質材料。
   〔A₂〕岩石材料の寸法が250mmを越える大きい寸法のものを含まない硬岩ずりで，75mmふるい通過分中の細粒分の含有量が25%以下，かつ，大小の寸法のものが適度に混合して締固めのしやすいもの。
2. 実施前において，必ず壁位置における原地盤線及び，基礎地盤の確認を要する。
3. 地山部及び掘削面に異常な湧水（設計図に示されていない排水対策外）が見られる場合は，別途対策，検討する必要がある。

注）盛土材の土質条件について、粘着力C=10kN／m2 を考慮するものとし、内部安定検討では考慮しない。
施工時までに盛土材料の土質試験をおこない、粘着力C=10kN／m2 以上であることを確認する。

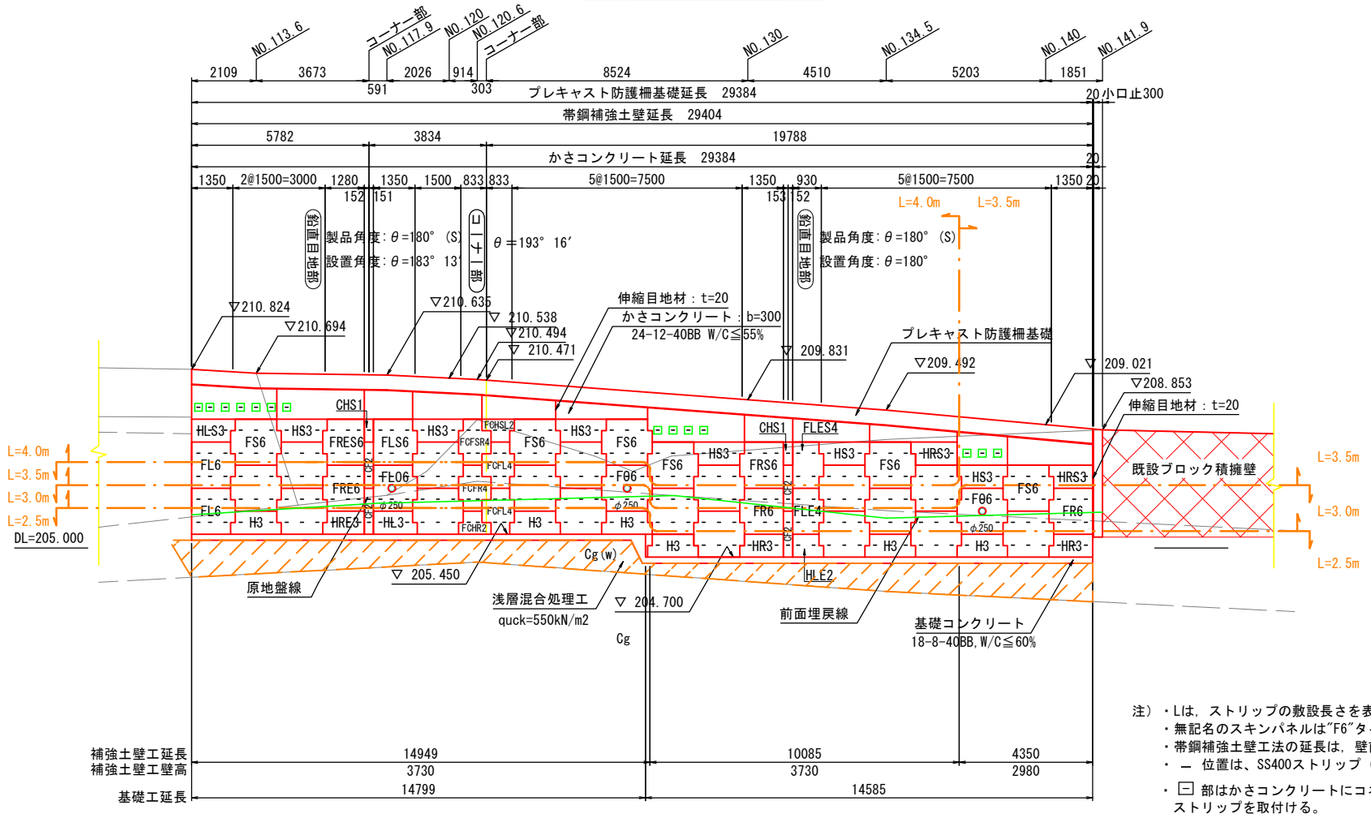
令和	8年度
工事名	令和6年災 第6703号 市道舘小石線 道路災害復旧工事（その4）
道路名	市道舘小石線
箇所	輪島市門前町小滝 地内
図名	帯鋼補強土壁一般図
縮尺	図示
図面番号	6 / 9 枚の内
輪島市	

※既設構造物の撤去・復旧計画は、測量図面を基に、既設構造物の形状・寸法について一般的な構造を想定して計画したものである。施工にあたっては現地確認を行い、既設構造物の形状・寸法を確認の上、現況に合わせて復旧すること。

帯鋼補強土壁構造図

【市道舘小石線 6号箇所13】

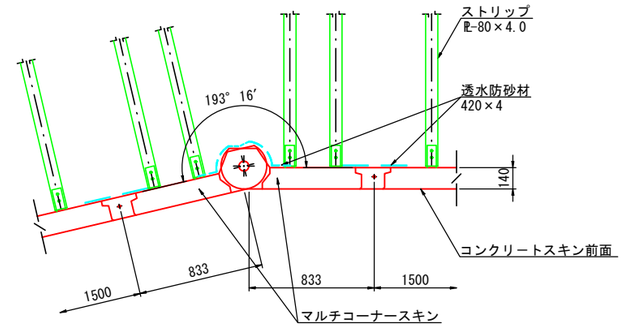
正面展開図 S=1:100



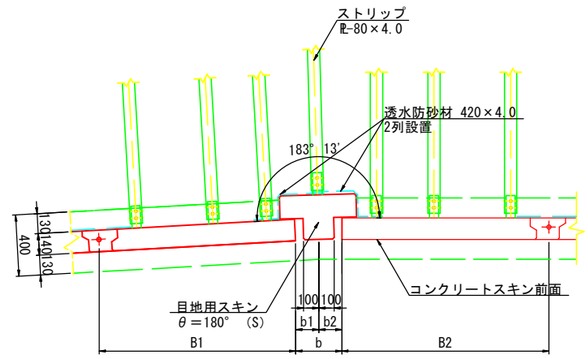
注）・Lは，ストリップの敷設長さを表す。
・無記名のスキンパネルは"F6"タイプを表す。
・帯鋼補強土壁工法の延長は，壁前面を表す。
・ ⎓ 位置は、SS400ストリップ（80×4.0）を取り付ける。
・ ⊟ 部はかさコンクリートにコネクティブストリップを埋込み、ストリップを取付ける。

コーナー部詳細図 S=1:20

（設置角度 θ＝193° 16′）



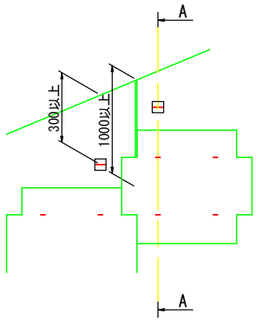
鉛直目地部詳細図 S=1:20



	B1	B2	b	b1	b2	設置角度
形状1	1280	1350	303	152	151	183° 13′
形状2	1350	930	305	153	152	180°

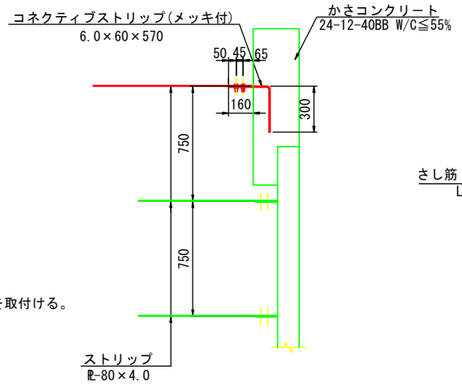
ストリップ取付け詳細図

背面図 S=1:40

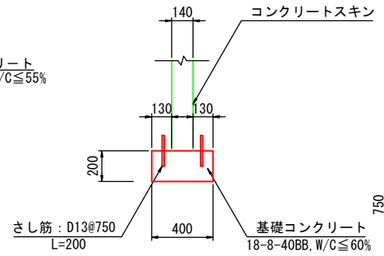


印部は、笠石コンクリートに補強用ストリップを取付ける。

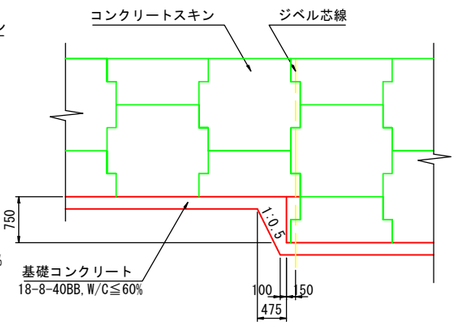
断面図 S=1:20 A-A



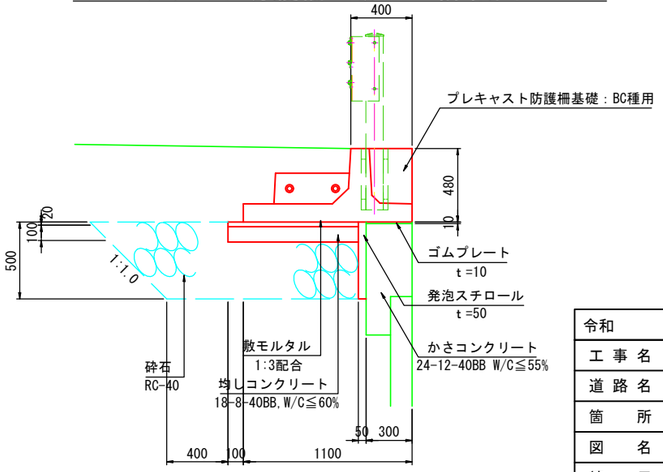
基礎工形状図 S=1:20



段上り部標準図 S=1:50



プレキャスト防護柵基礎工 詳細図 S=1:20

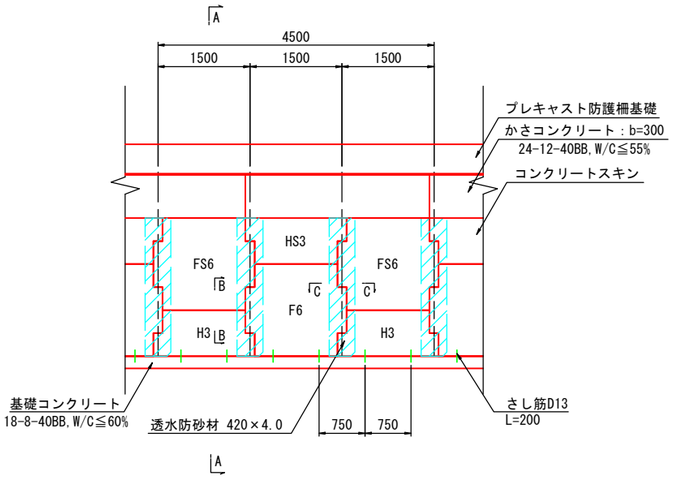


令和	8年度
工事名	令和6年災 第6703号 市道館小石線 道路災害復旧工事（その4）
道路名	市道館小石線
箇所	輪島市門前町小滝 地内
図名	帯鋼補強土壁構造図
縮尺	図示
図面番号	7 / 9 枚の内
輪島市	

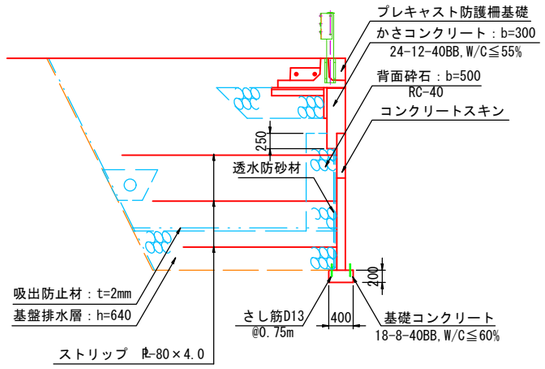
帯鋼補強土壁各部一般詳細図

【市道舘小石線 6号箇所13】

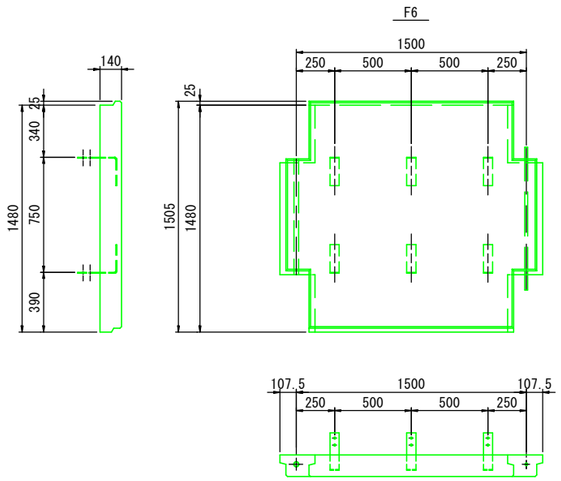
スキン組合せ一般図 S=1:50



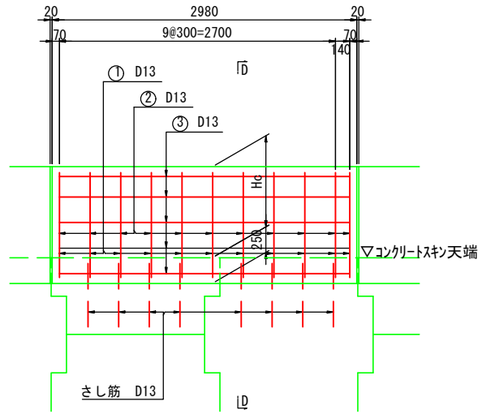
A-A断面図 S=1:50



標準スキンタイプ S=1:20



かさコンクリート配筋図（背面） S=1:30



B-B断面図 S=1:20

C-C断面図 S=1:20

ボルト・ナット（M12×40） S=1:2

透水防砂材 S=1:20

リブ付きストリップ S=1:10

水平目地材 S=1:10

D-D断面図

鉄 筋 加 工 図

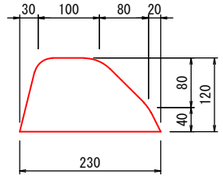
注） 鉄筋寸法は、中心位置を表す。

令和 8年度	
工事名	令和6年災 第6703号 市道舘小石線 道路災害復旧工事（その4）
道路名	市道舘小石線
箇所	輪島市門前町小滝 地内
図名	帯鋼補強土壁各部一般詳細図
縮尺	図示
図面番号	8 / 9 枚の内
輪島市	

排 水 構 造 物 詳 細 図

【市道舘小石線 6号箇所13】

アスカーブ　S=1:5



令和　8年度	
工 事 名	令和6年災　第6703号 市道舘小石線　道路災害復旧工事（その4）
道 路 名	市道舘小石線
箇　所	輪島市門前町小滝　地内
図　名	排水構造物詳細図
縮　尺	S=1:5
図面番号	9 ／ 9 枚の内
輪　島　市	